



はら

はちろう

原 八郎

鎌ヶ谷市議会議員
都市・市民生活常任委員会委員長
会派 政友会

原八郎後援会事務局 政策論議をしませんか。お気軽にご相談ください。
鎌ヶ谷市道野辺本町1-1 1-8 ☎4 4 5-3 4 6 6 <http://hara-hachirou.info/>

今月号の項目

① 六月定例議会
議案四件 報告二件全て可決

② 六月議会一般質問

- ・産業振興政策 商・工・農業
- ・待機児童0目標の落とし穴
- ・子どもの貧困対策法 国会で成立

③ 子宮頸がんワクチン事故

④ 延命治療望まず。八割

⑤ 認知症患者の予測

⑥ アイディア商品開発
夢見る会 討論会開催

⑦ 「いじめ対策の相談」

⑧ 文化センター名称決まる

⑨ 原八郎のルーツ「歩」三十回
(本物のシシヤモの味)

市政報告会のお知らせ

八月三日(土) 十時~十四時
中央公民館 四階 学習室六
どなたでも、お待ちしております。
夢見る会は十二時より開始。

① 六月定例議会

議案四件 報告二件全て可決。

- ・空き家条例解体費用貸付条例
- ・体育館耐震工事入札承認の件
- 他

② 六月議会一般質問
産業振興政策 商・工・農業

鎌ヶ谷市企業誘致基本計画・鎌ヶ谷市観光ビジョン・第二次鎌ヶ谷市みどりあふれる都市農業創造プランを基に、産業振興策の議論を交し、幾つも提案をした。

・待機児童0目標 二十七年年度末

横浜市が、二百六十億円を使い、認証保育園をたくさん作り、待機児童0を達成しました。認可外保育園の基準を上げ、認証保育園としたものです。鎌ヶ谷市では、そのまま参考にして、活用することはできません。来年四月に建て替え保育園が完成、定員が増え、家庭的保育園(アットホームママ)の新設で待機児童0を目指す。

BS8チャンネルプライムニュースで横浜市長と一緒に出演していた八王子共助保育園園長の言葉が大変重いものを感じた。「幼児は3歳までは親が愛情を持って育てるべきで、預けて人に育ててもらおうものではない、と思う。預けられた園児が保育園に望んで来たいと思っているだろうか。乳幼児の心を考えてみるのが、忘れ去られているような気がする。」とのこと。

乳幼児自身が望んでいることは何なのかを、もう一度、大人達は考えてみる必要があると、私は思います。

安倍総理大臣が3年間の保育休暇を認めるよう、経済団体に要望しました。もう一步踏み込んで、法律で義務付けて欲しい。休暇を取った人に公的資金で支援をすることが可能ではないか。保育園児一人当たり、公的支援を年間百三十六万円助成。その範囲内で助成したら、新しく保育園を造らなくても、待機児童は解消されます。

3歳までにしか成長しない脳細胞、眼窩

前頭皮質があり、愛情不足が脳細胞の発達障害となります。感情のコントロールや正しい判断をするのに大変重要な働きをする脳細胞です。「三つ子の魂百まで」の諺の通りです。大人の都合で、乳幼児を犠牲にしているのはありませんか。「添い寝・だっこ・おんぶ・おっぱい」は乳幼児には大切です。

・子どもの貧困対策法 成立

全国の相対的貧困率は16%。年収百二十万円から百八十万円くらいまでの家庭です。実態として、病気やけがをしても医療費の負担が高いことから病院にもいかず、学校の保健室の応急手当で済ましてしまう子供、クラスでただ一人修学旅行に行かない子ども、給食が、唯一の食事の為夏休み中に痩せてしまう子供等が現場からの報告があるそうです。

鎌ヶ谷市では、全児童生徒の7.03%が就学援助を受けているが前述のような事例報告はありません。一人親家庭の50%以上が相対的貧困層です。進学を諦め就職する子どもが多数います。

六月十四日の朝日新聞に「子の貧困、連鎖を断てるか」の記事がありました。生まれてきた家庭や、親の事情で大きく人生が左右されてしまします。個々人の才能を伸ばすための機会は平等であるべきです。市は子どもの貧困問題に、適切な対応をしていただきたい。

③ 子宮頸がんワクチン事故

副作用で全国的に大混乱
ワクチン接種、推奨中止。
安全性評価できず(厚労省)

三年前、子宮頸がんワクチン無料接種開始に当たり、安全性に疑問ありと強く主張し、私一人が反対しました。外国で副作用で死者まで出ていました。いくつか疑問があり調査研究した結果の反対でした。二・三年様子を見るべきですと主張した。不安が現実となる。

はら はちろう

原 八郎

鎌ヶ谷市議会議員
都市・市民生活常任委員会委員長
会派 政友会



原八郎後援会事務局 政策論議をしませんか。お気軽にご相談ください。
鎌ヶ谷市道野辺本町1-1 1-8 ☎4 4 5-3 4 6 6 <http://hara-hachirou.info/>

歩行障害や、慢性疼痛など重篤な副作用は三百五十七件。慢性疼痛四十三件、内十一件は寝たきり。ワクチンの副作用の確率。百万人当たり日本脳炎67 ヒブワクチン64 不活性ポリオ24 インフルエンザ8 子宮頸がんワクチンは501件。

半年以内に三回接種が必要だが、既に二回接種した人が今後どうするか、判断に迷って混乱しています。疑問点。接種対象が、小学六年から高校一年生の女子なのか、がんに関係するHPVウイルス五種類のうち二種類しか効果がないとの事。ウイルス感染してから一〇年以上後に前がん症状が現れ、それから五年ほどして、ガンになるという性質のガンなのです。子宮頸がんの検診を受ければ早期に発見でき、治療も簡単に出来、完治できます。検診が大切なのです。ワクチンを接種した人も検診を受ける必要があります。検診の受診率を欧米並みに上げることが大事であり、女性が検診を受け易くするために女性の産婦人科医師の養成や看護師でも検診できるような制度を改めるべきです。二年ないし三年に一度検診を受ければ子宮頸がんは防げるのです。

薬事審議会にワクチンの承認を求めた場合、承認されるまで、最低五年はかかります。しかし、子宮頸がんワクチンは十三か月で承認されてしまいました。これは異常です。当時、マスコミもほとんど取り上げませんでした。女性の国会議員達の勢いに押し切られたのか、実施されました。外国では副作用の問題で議論が活発で、賛否両論でした。私一人だけ、二・三年様子を見るべきだとし、実施に反対した。

案の定、副作用で苦しむ少女が二〇数名出てしまいました。今後どう混乱を解決するのか、見守りたいと思います。

鎌ヶ谷市では副作用の報告は今のところ

受けていないそうです。副作用が現れた方がありましたらお知らせください。

④ 延命治療望みますか。

終末期に関する県民調査結果。「望まず」が八割。家族での話し合い、六割が「なし」。元気なうち、意識のはっきりしている時期に話し合いをし、書類にして置くべき。高齢化社会を迎え、大切な事です。

⑤ 認知症患者数の予測

厚労省発表。去年四六二万人。予測を百六十万人も超えた。六五歳以上の十五％が認知症患者。軽度認知障害、研究が進む。鎌ヶ谷市は千三百二十人で5.4％が認知症。大変少ない。うれしいことです。早めに予防しましょう。予防できるので。自分の為です。

⑥ 特許、発明・発見を夢見る会

地域振興を目指して鎌ヶ谷に新しい製品、技術の開発を目指す勉強会を発足。具体的討論開始。ベンチャー企業を志す人。また、企業応援者、企業経営者も大歓迎。知恵を持ち寄り新製品を作り出しませんか。

八月三日 十二時から。市政報告会の後に討論会開催。参加者募集。連絡先 四四五・三四六六 原八郎

⑦ 「いじめ相談室」

いじめにあっているあなた。何か役に立ちたい。話を聞くことはできる。連絡ください。原八郎まで。

⑧ 文化センター名称決定

「きらり鎌ヶ谷市民会館」、「きらりホール」と決まる

「歩み」原八郎のルーツ 第三十回
『本物のシシヤモの味』

本物のシシヤモを、食べたことがありますか。北海道日高の海岸に秋に産卵の為やってくるシシヤモ。薄いピンク色で、半透明の魚です。スーパーのシシヤモは、本物ではありません。本物が秋にデパートで期間だけ販売されますが、一尾百円ほどします。

四十年ほど前の秋になりますが、ヒツチハイクで日高地方に行ったとき漁師の家に泊めてもらった。

鮭魚やイカ漁をする漁師の家である。沿岸にシシヤモが押し寄せ網にかかり、朝、それを外す手伝いを、近所の皆です。謝礼にシシヤモをバケツ一杯貰ってくる。それを枯れた薄の莖にさして一日干す。それをストーフの上で焼いてくれた。

夕食はカレーであったが、シシヤモを食べるとストーフの上でたくさん焼いてくれた。本物のシシヤモである。甘みがあり大変な美味で、三〇匹は食べたと思う。大変贅沢な経験であり、絶品を味わった。

翌朝は、試験的にイカ漁に出て釣ってきたイカ刺しをご馳走になった。甘くて歯ごたえがありこんなに美味しいものかと感激した。

(次号に続く)